

わかさ 議会だより

緑と清流のまち

第178号

令和4年

5月号

WAKASA TOWN



議会事務局のアドレスへ



P2～3
P4～5
P7
P8～9
P10
P11
P12～13
P14～17
P18

新議員「町づくりへの抱負」
令和4年度当初予算
議会の構成
審議結果・討論
あの案件どうなった？
議会からのお知らせ
令和3年度補正予算
一般質問
わたしの想い(岡崎さん)

わかさこども園 お花見給食会

3～5歳児 39名
0～2歳児 14名
計 53名



くりへの抱負

論する町議会へ～

ごあいさつ



議長 山根 政彦

3月議会定例会におきまして議長のお務めを賜りました。身之余光榮であり、重責に身の引き締まる思いです。町民の皆さまのご支援ご協力のもと、地方議会の使命を十分果たせるよう懸命に取り組んでまいります。

この度の議会議員一般選挙は、無投票という結果になり議会の一員として、とても責任を感じているところです。今期は議会改革が急務であり、議会活動が広く町民の共感を

得て、多様な人々に政治に参加したいという意志を喚起し、女性や若い世代の議員を増やすことに繋がるよう議論を重ねていきたいと思っています。

また、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、人口減少抑止の為に地方活性化対策、防災対策、少子高齢化対策など地方自治体に課せられた課題は山積しており、議会が果たさなければならぬ責任は、今後益々大きくなってまいります。議会は、常に町民の福祉と生活の向上、そして町の発展のため努力をしておりますので、町民皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

町民の命、暮らし 第一の若桜に



中尾 理明

あつて、何より命と暮らしを大事にする若桜町でなければなりません。そのために私は、皆さんの願いを届け、実現できるように、精一杯頑張ります。議会では、政策を積極的に提案すること、議員同士で政策課題をよく話し合い、皆さんの期待に応える努力を積み重ねることが必要です。私はその議会活動の旗手になります。

これからも、若桜町は自然豊かな、歴史ロマンにあふれるふる里であり続けて欲しいと願います。そのため私は、危険な低空飛行を許しません。憲法第9条を順守し、静かで平和な若桜町を守り抜きます。

住民の声を行政へ



川上 守

今回6期目の選挙で無投票選挙になりました。議員のなり手不足の中、議会に対する魅力のなさや露呈した状況になりました。現職の議員として、議会の発信力のなさを通貫しています。議員活動・議会活動をとらえて議会内の事をしっかりと発信していけるよう行動していきたいと考えています。明るく元気な町を目指して、「若桜町に人が呼べる・若者の住みやすい・差別のない」まちづくりを目指し、公約実現のため住民の声を大切にしながら頑張ります。

機能する議員をめざして



副議長 小林 誠

「若桜を元気にしたい！」これが、私が議員になった理由です。

町には色々問題、課題もありますが、特に町内の公共交通と関連の福祉事業等に力を入れま

す。年々人口減少、高齢化が進むなか、将来を考えると駅周辺を拠点にコンパクトシティを描き、利便性、効率のよい町づくりを目指し進めます。

ただ、今後ますます、財政の厳しい状況の見える中、県議会議員、国会議員との人間関係の強化を図り、協力、支援体制が頂けるように努めていくことも町議会議員の義務と考え頑張っていきたいと思います。

民から町への 橋渡し



山本 晴隆

今回は無投票となり、町民の議会への関心度が薄いと感じています。

議会改革を中心に住民のために何を考えればいいのかを考えて「住んで良かった」と実感できる町づくりを目指し全力で取り組んでまいります。人口減少、超高齢化社会、耕作放棄地問題、観光資源の有効利用、買い物支援など、町が抱える課題を把握して、皆さんの声を聞きながら積極的に意見・提案・行動をしていきたいと考えます。上川新町長、執行部、議会で議論を重ね住民サービスの向上に努力、精進してまいります。よろしくお願いたします。



新議員 町づ

～政策提言し、討

多様な声に寄り添える議員に



前住 孝行

3期12年の経験を活かし、様々な意見をいただき、自分なりの考えを町政へ届けます。より良い方向性へ向かうよう願っています。

気持ちと同じですので、課題意識を共有しながら提案型で取り組みます。

医療・福祉施策の充実、町民の健康・体力づくり、自然・環境を守る施策、観光資源の掘り起こし、地場産業の宣伝と伝承、公共施設の活用・整理、議会改革を訴えていこうと思いますので、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

価値あるまち 若桜を次世代へ



森田 二郎

町議会議員として町政に関わらせていただくことになりました。若桜を様々な面で価値あるまちとして次世代へ手渡していくために、具体的な将来像を「オール若桜」で共有して、まちづくりを進められるよう全力を尽くしていきます。

その将来像の実現に向けて、多くの事業の評価検証、若桜の資源や各産業をつないで若桜の魅力をより引き出す取り組みの提案、青少年のまちづくり参画システムづくりの実現に取り組んでいきます。

主役は 皆さんです。



山本 安雄

この度、3期目の議席を頂き感謝申し上げます。

2期8年の反省と経験をもとに町政発展のために「議論する議会」、「透明な議会運営」、「町民参加のための開かれた議会」を目指して議会活動に取り組みます。

「傾聴・報告・相談から始める議員活動」をスローガンとして「公平・公正・透明な行政運営か」、「補助金などが有効に使われているか」をチェックします。また、農業を中心とした自然環境、自然エネルギーなどの産業振興に取り組みます。

それぞれの地域には、其々の課題があります。皆様の声を聴かせてください。報告・相談し、課題を共有し皆様と共に「魅力ある町」となるよう取り組みます。主役は皆さんです。

面白い発、笑顔あふれる町へ



谷口 貴

『若桜町を面白い町へ』という思いでこの度、初めて議員をさせていただきます。

先には『楽しい町』や『笑顔あふれる町』があります。

その思いを達成するために、ときには既成概念をくつがえすような行動や発言をするかもしれません。

町民の方々、先輩議員に指導助言を頂きながら活動していきたいと思っていますので皆様、宜しくお願いします。

持続可能な安心 安全な町づくり



梶原 明

この度、選挙は無投票という結果になりましたが、2期目の議席を頂きました事を深く感謝します。

少子高齢化や人口減少は避けて通れない状況です。

今後、安心安全に暮らしていくためには、早期の駅周辺にスーパーや医療機関など集約したコンパクトタウン構想の推進や免許を返納しても移動が出来る持続可能な公共交通の構築、近年多々起こる災害に対する対策などが急ぐべき課題だと考えています。

町民の皆様のご意見を聞きながら課題解決に向けて緊要一番してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



審査の様子

総額36億 8300万円で スタート

ふるさと創生課

地方創生事業

1053万円



若桜駅

列車増便による利便性の向上を活かした
若桜鉄道新たな需要創出事業

駅舎利用活動推進プロジェクト	100万円
グッズ製作・プロモーション・PR	351万円
観光列車利用促進	316万円
花と緑の推進プロジェクト	105万円

917万円

依存財源 (77.8%)
28億6676万円

自主財源 (22.2%)
8億1624万円

コンビニ納付・スマホ決済 システム導入

341万円



スマホ決済(イメージ)

共通納税システム対象税目拡大・納付書
QRコード対応業務

町税等公金のコンビニ納付・スマホ決済を令和
4年4月から開始し納税者の利便性を図るもの
委託料1167万円のうち

341万円

その他 4月から納付できる使用料

(地域整備課)
(水道使用料、公共下水道使用料、農業集落
排水使用料、町営住宅使用料、町営住宅駐車場
使用料)

総務課

八頭消防署若桜出張所建替事業

3670万円



八頭消防署若桜出張所

八頭消防署若桜出張所跡地利用に係る測量設計
業務 委託料 270万円
八頭消防署若桜出張所建替に伴う敷地造成工事
工事請負費 3400万円

な
規
業

第1回

3月定例会

(令和4年3月9日～23日)

令和4年度当初予算 一般会計

にぎわい創出課

観光事業費

2061万円



新因幡ライン景観形成行動計画の取組み
(スキー場案内看板撤去) 27万円
若桜町観光協会補助金 1430万円

町民福祉課

新型コロナウイルス対策事業

244万円



新型コロナウイルスワクチン接種事業の予約管理 224万円
PCR検査費用助成費用 20万円

特別会計

事業名	予算額
国民健康保険	4億3144万円
介護保険	7億198万円
後期高齢者医療	6596万円
簡易水道	4億6637万円
公共下水道	1億5247万円
農業集落排水	6368万円
赤松団地造成	56万円
財産区造林	325万円
索道	4185万円
住宅新築資金等貸付	90万円

教育委員会

池田分館改修事業

1854万円



地域の拠点として誰もが利用しやすい施設とするため、1階で様々な活動ができる広い多目的スペースの整備やトイレを洋式化するもの
設計費 159万円
監理費 60万円
工事費 1633万円

主
新
事

予算審査特別委員会

委員長 梶原 明議員
副委員長 小林 誠議員

令和4年度若桜町一般会計予算

■審査の経過

3月15日、16日、17日、18日、22日の5日間にわたり委員会を開催し、町長ほか各課長及び関係職員の出席を求め、慎重に審査を行った。



■審査の結果

当委員会に付託された議案は、原案を可決すべきものと決定した。

令和4年度若桜町特別会計予算

国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療・簡易水道事業
公共下水道事業・農業集落排水事業・赤松団地造成事業・財産区造林事業
索道事業・住宅新築資金等貸付事業

■審査の経過

3月15日、16日、17日、18日、22日の5日間にわたり委員会を開催し、町長ほか各課長及び関係職員の出席を求め、慎重に審査を行った。

■審査の結果

当委員会に付託された議案は、原案を可決すべきものと決定した。



議会の構成

議長 山根政彦

副議長 小林誠

(令和4年3月9日から)

議会運営委員会

委員長	川上守
副委員長	小林誠
委員	山本晴隆
委員	梶原明

総務産業教育民生常任委員会

委員長	山本晴隆
副委員長	梶原明
委員	中尾理明
委員	川上守
委員	前住孝行
委員	小林誠
委員	山本安雄
委員	山根政彦
委員	森田二郎
委員	谷口貴

議会 調査特別委員会

委員長	森田二郎
副委員長	谷口貴
委員	川上守
委員	梶原明

(令和4年3月23日設置)

議会選出監査委員

梶原明

(令和4年3月15日選任)

東部広域行政管理組合議会議員

山根政彦

鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員

小林誠

議会改革調査特別委員会

委員長	山根政彦
副委員長	小林誠
委員	議員全員

(令和4年3月23日設置)

その他	若桜町副町長の選任について 若桜町副町長に川戸 伸二氏が選任され同意した。	同意
	若桜町固定資産評価審査委員会の委員の選任について 若桜町固定資産評価審査委員会委員に森本 尚夫氏が選任され同意した。	同意
議員提案	ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議	可決
	議会だより調査特別委員会の設置について	可決
	議会改革調査特別委員会の設置について	可決

討論

賛否の分かれた議案

予算

「○」賛成、「×」反対、「－」採択棄権のため欠席

氏 名	谷口 貴	森田 二郎	梶原 明	山本 安雄	前住 孝行	山本 晴隆	川上 守	中尾 理明	小林 誠	山根 政彦	結 果
令和4年度若桜町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議	可決

原案反対 中尾理明

部落解放同盟高野支部への補助金は、「地域改善対策特別措置法」も失効しており根拠もなく、運動団体は、自主運営すべきです。差別はあってはなりません、事業は終結しているため、反対します。

原案賛成 川上 守

「同和対策事業特別措置法」が失効しても、現在の「部落差別解消推進法」で部落差別解消に関する施策を講ずる責務があると明記されており、この事業への反対は、明らかに法律に逆行するものであるため、賛成します。

陳情

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	×	○	×	×	○	×	×	○	×	議	不採択
--------------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

原案反対 梶原 明

コロナ禍などの社会の状況を考えると、中小企業への支援は行われています。現在の景気を考えても全国一律賃金の実現は難しいと考えるため、原案に反対します。

原案賛成 中尾理明

コロナ禍にあって、最低賃金で働く労働者の生活は大変です。生活安定のため、時給1500円への引き上げが必要です。そのためには、企業の99%を占める中小企業の経営者への支援が緊要と考えるため、賛成します。

陳情書 氷ノ山スキー場運営に関わる事業者に対する支援措置について	○	－	○	×	○	○	○	－	議	－	採択
----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

中尾・森田は採決棄権のため退席

山根議長は議事進行の都合により退席のため小林副議長が議事進行

原案反対 山本安雄

内容の全てを否定するものではありません。氷ノ山地域の活性化を目的とした補助金制度は既に整備されており、コロナ禍での対策支援は町独自でも行われています。更なる特定事業者に対しての支援には、反対します。

原案賛成 梶原 明

コロナ禍により、関係者の打撃は大きなものであると予想できます。関係事業者の方々が、雇用を含め、地域貢献にもつながる取り組みを継続するためにも支援は必要と考えるため、原案に賛成します。

一目でわかる 審議結果

第1回議会定例会

予 算	令和4年度若桜町一般会計予算 歳入歳出予算の総額を36億8300万円とした。	可決
	令和4年度若桜町国民健康保険事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額を4億3144万円とした。	可決
	令和4年度若桜町介護保険事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額を7億198万円とした。	可決
	令和4年度若桜町後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出予算の総額を6596万円とした。	可決
	令和4年度若桜町簡易水道事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額を4億6637万円とした。	可決
	令和4年度若桜町公共下水道事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額を1億5247万円とした。	可決
	令和4年度若桜町農業集落排水事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額を6368万円とした。	可決
	令和4年度若桜町赤松団地造成事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額を56万円とした。	可決
	令和4年度若桜町財産区造林事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額を325万円とした。	可決
	令和4年度若桜町索道事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額を4185万円とした。	可決
	令和4年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 歳入歳出予算の総額を90万円とした。	可決
補 正 予 算	令和3年度若桜町一般会計補正予算（第5号） 8417万円を増額し、歳入歳出予算の総額を44億2300万円とした。	可決
	令和3年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） 44万円増額44万円減額、歳入歳出予算の総額を4億5132万円とした。	可決
	令和3年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第4号） 7346万円を減額し、歳入歳出予算の総額を6億7478万円とした。	可決
	令和3年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号） 1億8278万円を減額し、歳入歳出予算の総額を1億1592万円とした。	可決
	令和3年度若桜町財産区造林事業特別会計補正予算（第1号） 508万円を減額し、歳入歳出予算の総額を290万円とした。	可決
条 例	若桜町空家等の適正管理に関する条例の制定について 空家等の適正な管理に関して必要な事項を定めることにより、倒壊等の事故、火災、犯罪等を未然に防止し、町民の安全な暮らしの実現に寄与することを目的に条例を制定するもの。	可決
	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和等をするため所要の改正を行うもの。	可決
	若桜町国民健康保険税条例の一部改正について 全世帯対応型の社会保障制度を構築するために条例の一部を改正するもの。	可決
	若桜町新型コロナウイルス感染症対応利子補助金基金条例の一部改正について 利子補助金制度の申請期間延長に伴い、基金条例の一部を改正するもの。	可決
そ の 他	公の施設の指定管理者の指定（わかさ29工房）について 公の施設名称 わかさ29（にく）工房 指定管理者 猪鹿庵（ジビエアン） 指定の期間 指定の日から令和7年3月31日	可決
	若桜町監査委員の選任について 若桜町監査委員に梶原 明氏が選任され同意した。	同意
	工事請負契約の締結について 工 事 名 若桜町防災無線（移動型）デジタル化整備工事 契約の相手方 株式会社 日立国際電気 中国支店 契 約 金 額 2億900万円	可決

あの案件どうなった？

コンビニ建設白紙への経緯！ 総務産業教育民生常任委員会(抜粋)

■第16回 令和3年10月25日

- 「若桜の商業を考える会(仮称)」の進捗状況について
 - ・事業が進展していない状況を聞いた。特にコンビニに關係してのアンケートもされておらず、執行部への不信感から、多くの委員から質疑がされた。

■第17回 11月11日

- 「若桜町の商業の未来を考える会(仮称)」の開催について
 - ・この会の要綱、メンバー構成の説明を受けた。
 - ・今後のスケジュールについての説明。意見交換を行った。

■第18回 11月24日

- 「若桜町の商業を考える会(第1回)」の開催状況について
 - ・コンビニが地域に与える影響の調査として行う、買い物実態アンケート調査の内容について報告を受けた。意見交換を行った。

■第19回 12月7日

- 貸店舗新築工事の工事請負費減額補正について
 - ・執行部の提案に対し、委員から異論が出た。執行部で再度検討を行い、後日回答を受けることとなった。

12月8日

- 貸店舗新築工事の工事請負費減額補正について
 - 『議員間協議』
 - ・過疎自立促進計画と整合性がとれない。
 - ・次の執行部新体制で、しっかり判断するのが良いと思う。
 - ・設計費を残して、工事費を落とすのは意味がわからない。
 - ・新体制で、また一からになると事業ができない。
 - ・アンケートや新しい会を立ち上げながら、ここで減額をすれば町民に間違ったメッセージにとられかねない。
 - ・工事が年度内に無理なので、ここで減額すべきだ。 《これら意見を町長に報告を行った》

■第20回 12月10日

- 貸店舗新築工事の工事請負費減額補正について
 - 『町長の提案説明』(12月7日の回答)
 - ・執行できないものについては、減額することが基本的な考え方である。
 - ・繰越ありきの事業ではないと思っている。
 - ・執行できる状況が見込めない。
 - ・このまま定例会に上程したい。

■第1回 令和4年1月21日

- 「買い物(消費)実態等に係るアンケート」の進捗状況と及び今後の取り組みについて
 - ・集計状況の説明を受けた。
 - ・3月末に広報わかさ4月号でアンケート結果を公表する旨の説明を受けた。

■第3回 2月16日

- 「買い物実態調査アンケート」の結果について
 - 『議員の意見』
 - ・自由記載欄の集計ができていない。いつまでかけて集計するのか。遅すぎる。
 - ・執行部新体制の中で、どうやっていくのか心配する。
 - ・引き続きしっかりやってほしい。

■全員協議会 3月10日

- 補正予算の説明
 - ・貸店舗新築工事設計監理業務の予算を落とし、コンビニについてはいったん白紙に戻すとの説明を受けた。

■3月定例会 3月15日本会議

- 道の駅管理事業(委託料) 貸店舗新築工事設計監理業務 250万円減額補正可決

議会からのお知らせ

今年度は議員座談会の開催を予定しています

開催日時、方法、内容等につきましては、新型コロナウイルスの感染状況等を鑑み協議中です。議員が集落に出向き開催する場合は、各自治会のご希望を伺い決定します。

町政などに対して意見や要望があるときは

町政などへの要望等を直接書面で提出できる制度として、請願・陳情があります。

提出された請願・陳情は議長が議会運営委員会に諮り、常任委員会に付託するか否かを決定します。「常任委員会の審議になじまない」と判断されたものについては付託しない場合もあります。審査後は本会議で採否を決め、採択されれば、行政に活かされるよう町長または関係機関に審議結果を送付し願意の実現を求めます。

一般質問はインターネット中継でご覧いただけます

定例会の本会議で行う一般質問は、「生中継」と「録画動画」がご覧いただけます。一般質問の開催日時は、IP告知端末などで事前にお知らせします。若桜町ホームページ上にアクセスしてご覧ください。

録画放送は

若桜町議会録画放送



でご覧ください。

一般質問後おおむね一週間程度から視聴できます

議会へ傍聴にお越しく下さい

(本会議)

傍聴を希望される方は、健康状態をご確認及び新型コロナウイルス等感染症対策にご協力の上、受付票に住所、氏名のご記入をお願いいたします。

傍聴者席は報道3席、一般10席(当日先着順)に制限させていただいています。傍聴者が制限数以上に達したときは、庁舎3階の議員控室において、本会議(一般質問のみ)をインターネット中継にてご覧いただくことが可能です。

また、若桜町議会傍聴規則をご確認いただき、議事の進行にご協力願います。

(委員会、各特別委員会)

原則として公開されており、委員長の許可を得て傍聴することができます。ただし、審査の内容などによっては非公開とする場合があります。

なお、10席程度(当日先着順)に制限させていただきます。

コンビニ建設 白紙に!!

指定寄附金

補正前

0円



若桜学園

学校教育の振興を目的とした寄附金による
増額 1500万円

補正後

1500万円

温水プール管理

補正前

1993万円



わかさ温水プール全景

電気代の値上がり及び使用室の増に伴う
増額 130万円
給湯器1基の故障による増額 126万円

補正後

2249万円

令和3年度 一般会計補正予算 (第5号)

8416万円
増額

総額

44億

2300万円

補正項目は一部の掲載となっています

道路維持費

補正前

8085万円



除雪作業

除雪作業の大幅増加による増額 2200万円

補正後

1億285万円

地方創生事業

補正前 **574万円**



駅前イルミネーション

トレイルレースの中止と「鬼っこまつり」を「恋こいロードイルミネーション事業」への変更による減額 $\Delta 186$ 万円

補正後 **388万円**

森林整備事業

補正前 **5858万円**



作業道整備

美しい森林づくり基盤整備交付金の減額

$\Delta 510$ 万円

森づくり作業道補助金の減額 $\Delta 285$ 万円

森林路網補助支援の減額 $\Delta 111$ 万円

他事業

補正後 **5257万円**

道の駅管理事業

補正前 **1885万円**



道の駅若桜 桜ん坊

貸店舗新築工事設計管理業務（委託料）の減額 $\Delta 250$ 万円

補正後 **1635万円**

児童福祉費・交付金

補正前 **405万円**



わかさこども園

出産祝金支給事業の実績に伴う減額

$\Delta 75$ 万円

子育て応援給付事業の実績に伴う減額

$\Delta 189$ 万円

補正後 **141万円**

詳しくは

若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録

3月議会定例会の一般質問は、3月22日に行われ、4人の議員が町政の課題について質問しました。

質問の要旨と町長の答弁は、質問を行った議員が要約して掲載しています。



質問者

中尾 理明 (P14)
川上 守 (P15)
森田 二郎 (P16)
山本 安雄 (P17)

Q JRは、今回のダイヤ改正で山陰本線などを減便。近い将来、因美線の廃止なども検討される可能性は充分あります。因美線廃止となれば町民の大切な交通手段、観光鉄道である若桜鉄道に大きな影響があると考えます。町長の考えをお聞きます。



中尾 理明

若桜鉄道

**若桜鉄道を守るため、
国の支援強化を
国へ、予算確保と補助率を二分
の一に戻すよう要望している**

A (町長) 今回改正では、因美線の減便は最小限だったと思います。しかしダイヤ改正発表後、JRによる地方ローカル線等の合理化計画が明らかになり、中国地方知事会は、ローカル線の維持・存続、コロナ収束後速やかなダイヤの復活を要望されています。県等関係自治体と連携し要望していきたいと思えます。

Q 昨年、朝日新聞は「若桜鉄道が、昨年度は6年ぶりの当期赤字に転落した。鉄道事業再構築実施計画09年、18年度に沿い、安全設備の改修等の国の支援

は、計画終了後、大幅減額となった」と伝えました。若桜鉄道対策事業費は、直近3年間の当初予算を見ると、各年度とも1億円余りの総額に対して、国庫支出金は、令和2年度1230万5000円から令和3年度354万円、そして令和4年度52万円余りと激減しています。国の補助率の引き下げは重大です。町長の考えをお聞きます。

A (町長) 上下分離方式導入以後、路線維持改善策として、計画期間の10年間、施設整備への国庫補助金が、通常の3分の1から2分の1にかさ上げされました。しかし、終了後の令和元年度からは通常に戻され、計画的整備に支障が起きかねない状況です。安全輸送に向け、八頭町と一

緒に国へ予算確保と補助率が2分の1となるよう要望しているところです。

低空飛行問題

**目撃情報を町へ通報する周知を
正確な情報伝達の
為広報で周知**

Q 鳥取県は一昨年12月16日付で、自治体に対し、住民から米軍機等の目撃情報が寄せられた場合は、確かかつ遅滞なく県に報告するように改めて要請しています。鳥取市や八頭町では広報誌等で飛行目撃情報を寄せていただくように周知されています。若桜町も町民に対し、目撃情報をその都度通報していただくよう、広報誌などで周知を図るべきと考えますが、町長の考えをお聞きます。

A (町長) 町は、目

撃情報を、県及び美保航空事務所に伝え、国にこれらの安全を要望しています。国に対して、より正確な情報を伝えることは重要なことであると考えますので、提案の通り、改めて広報誌等により目撃情報の提供を求めることを町民へ周知をしたいと考えます。

〈この他に、「未就学児に対する国保税均等割への町補助による無料化提案」について質問しました。〉



若桜谷の宝

Q 一般質問 A



川上 守

Q 有限会社若桜農林振興の、生産向上と販

A (町長) 林業関係者や森林所有者など幅広く意見をいただき、具体的な取組を検討していきたいと考えています。

Q 林家の所得向上と、雇用の創出について、具体策を考えているのか伺います。

農林業対策

林家の所得向上と雇用創出は
林業関係者の意見をいただきながら取組を検討

路拡大をどのように考えるのか所見を伺います。

A (町長) 地域経済の循環と町内外への販路開拓、各種食事提供施設や配食サービスなどへの働きかけをし、しっかり取り組んでいきたいと考えています。

観光対策

氷ノ山集客は何を先行すべきか
提言書を参考に

Q 氷ノ山集客について、多くの事業を実施する必要があるが、行政として何が必要で、何が先行すべきかお尋ねいたします。

A (町長) 氷ノ山あり方検討委員会からの提言書を参考に、事業を実施したいと考えています。



活用を待つ若桜迎賓館

Q コロナ後のインバウンド需要への対策について具体的な考え方を伺います。

A (町長) マイクロツーリズム等の事業に取り組みとともに、インバウンド需要の体制整備と併せて行いたいと思っています。

エネルギー対策

バイオマス総合利用計画の考え方は
計画を見直ししながら

Q 「若桜町木質バイオマス総合利用計画」について、町長の考え方を伺います。

A (町長) 随時計画を見直しながら公共施設等への導入について、適当な時期に事業化を図って、地域経済の循環を実現したいと考えています。

集落支援

池田地域の支援の枠組みは
集落と話し合う

Q 池田地域の新たな集落支援の枠組みについて、どのように考えているか伺います。

A (町長) 若桜町に合った自治組織を池田

地区で導入できないか、集落と話し合って検討してみたいと考えています。

地域医療

わかさ生協診療所移転計画は
来年4月オープンへ

Q わかさ生協診療所の移転計画について、行政としてどのように関わっていくのか、また全体の事業内容を含め伺います。

A (町長) 旧太平洋産跡地で、来年4月のオープンを予定。従来の診療、介護サービス、新たに高齢者の住宅等定期巡回、随時対応型の訪問介護・看護事業です。実現に向けて金銭的支援だけでなく、他団体との連携や情報提供等、様々な支援を行っていききたいと考えています。

質問 A

総合計画・総合戦略

若桜町総合計画と総合戦略の関係と位置づけは
未来ビジョンとともに位置づけを明確化し、共通理解を図る



森田 二郎

Q 若桜町総合計画と総合戦略は、若桜町未来ビジョンも含め、関係性が整理統合されておらず、明確でないと思います。町政への位置づけについて伺います。

A (町長) 総合計画は町政全般を網羅する各政策分野についての基本的方向性を定め、町の

計画の最上位に位置づけるものです。現在、第10次総合計画の策定を進めています。総合戦略は、総合計画の中でも特に人口減少対策について戦略をまとめたものです。行政内で共通理解を図り、目標に向けた取組を進めたいと考えています。若桜町未来ビジョンは、町も関与しながら町民の提案をまとめたものですが、必要な施策は、第10次総合計画に反映させたいと考えています。

若桜町未来ビジョン

新たなビジョン
作成の予定は
総合計画に
位置付ける



若桜町未来ビジョン

Q 新たな若桜町の未来ビジョンや将来像を、どのように町民に示すのか伺います。

A (町長) 若桜町未来ビジョンは、改めて策定するというのではなく、頂いた提案を総合計画の中に位置づけていきます。

事業評価
外部評価・監査
等は実施するか
数値目標を設定し実施する

Q 多くの事業の効果の検証が必要です。外部評価、外部監査等事業評価をどのように実施されるのか伺います。

A (町長) 第9次後期計画の主要施策の達成状況や効果について所属ごとに検証を行い、第10次計画に結果を反映します。これまでの総合計画においては具体的な数値目標を設定していませんでした。

新たな総合計画ではこのKPI等の数値目標を設け、事業評価を行い、また外部評価も取り入れるよう検討していきたいと考えています。

総合戦略にはKPIを既に設置しており、今後、総合計画も含めて指標及び外部評価を取り入れることで、進捗状況や事業効果を見える化し、目標達成に向けて取り組みます。

人口流出の歯止め

青少年のまちづくり参画を進めては
関係機関と連携し取り組み

Q 人口流出の歯止め

対策として、若桜在住の高校生以上の青少年がまちづくりに参画できる施策について伺います。

A (町長) 高校生等の青少年層が、地域づくりの一端を担えるような場づくりを進めたいと思います。

A (教育長) 現在の高校生の学校生活の状況、地域との関わり、地域の活動への意向等を把握し、本町での可能性、方向性等を幅広く検討し、町の各種関係団体と連携して、全町的な取組を進めたいと考えております。

※KPI（重要業績評価指数）とは目的達成に向けた業績評価指数



般



山本 安雄

Q 若桜町公共施設等総合計画によると、公共施設や道路など社会資本の維持や整備などに係る普通建設事業費及び維持管理費は、最近の10年平均で約5億9000万円が支出されています。今後の推移予想を伺います。

A (町長) 施設の老朽化が進むと、維持管理費は増加します。公共施設等総合管理計画の改定作業を進めており、今後、10年間の維持管理費の推計をすることになっています。

財 政	公共施設等の維持管理費の推移予想は
今後、10年間の維持管理費の推計をする	

Q 令和4年度予算では、地方債に対する元利償還金は、約4億円計上されています。今後の推移予測を伺います。

A (町長) 町道、林道の改良事業、防災行政無線デジタル化、公共施設の整備や大規模改修、災害復旧事業などの実施に伴い増加傾向にあります。ピークは、令和7年度で4億7千万円余りの見込みです。今後は、実施事業の精査が必要と考え

Q 令和4年度予算では、歳入総額36億8千万円の内依存財源28億6千万円、自主財源は8億1千万円です。依存財源のうち、地方交付税が19億円計上されています。財政について、中長期的な観点での所見を伺います。

A (町長) 人口の減少に伴い、自主財源の減少も想定されます。このような状況でも住民サービスを低下させることなく町政を運営するため、既存事業の見直しや新規事業の実施については、その必要性や効果等の精査が必要と考えています。

町政運営	住民参加は
重要な施策	

Q 住民が行政に共同参画する事も、今後の町政運営のひとつの方向性だと思っています。考えを伺います。

A (町長) 町政を運営する上で、住民参画を進めるのは重要施策としてしっかり取り組んでいきたいと考えています。

Q 前々町長当時から、「こんにちは町長室」や「移動町長室」が行われてきました。町民との意見交換の機会をもつことを検討しては

A (町長) 自らが行政情報を発信し、町民の皆様との意見をお伺いすることで問題意識を共有し、課題解決に向けた施策を、町政に反映することは重要と認識しています。コロナウイルス感染症の状況を見ながら、復活させたいと考えています。



IP告知端末

※地方債とは、施設整備等の為に行う長期の借入金

わたしの想い

このコーナーでは、3月に高校卒業され、それぞれの旅立ちを迎えられた皆さんからのご要望や率直な意見を紹介させていただきます。

「ふるさとの温かさ」

おかざき りょうた
岡崎 凌大さん（糸白見）



春から大学生となり、地元若桜を出て静岡県で一人暮らしを始めました。工学部に入学し、電気回路の仕組みや情報通信について学びます。慣れない地での初めての一人暮らしは不安も多いですが、自分なりに頑張ろうと思います。若桜を離れて、改めて町の皆さんの優しさや若桜の過ごしやすさを感じました。若桜では夕方に「おかえり」と声をかけてくださる方や車の中からでも笑顔で会釈をしてくださる方、バスに乗った時「学校お疲れ様」と飴をくださった方もいて町民の皆さんの温かさを実感しました。同じ集落に住んでいる方だけでなく、たくさんの方に見守ってもらっているんだと感じた瞬間でした。若桜町は市街地と比べると何も無いと思っ
てしまいがちですが、その分、人との繋がりがたくさんあって優しさに溢れた町だと思います。

新型コロナウイルスの影響や通信技術の発達で、今後さらに人と接する機会が少なくなってしまうかもしれませんが、こういった若桜町の良さは失って欲しくありません。ここ数年は若桜神社大祭や花火大会、町民運動会なども例年通りの開催とはならず、町民の方と出会う機会がとても少なくなっていました。こうしたイベントこそ人とのふれあいや伝統といった若桜町の素晴らしさを象徴したものだと思うのでまた開催される日を楽しみにしています。

卒業後の進路はまだ何も決めていませんが、いつか自分が学んだことや経験したことを活かして地元若桜を元気づけたいです。どこにいても故郷への想いを胸に毎日一杯頑張ります。

意見・写真をお寄せください メール gikaidayori@town.wakasa.tottori.jp

QRコード



あとがき

議会だよりの担当として議会活動、議員活動の内容を、町民の皆様にお届けすることにしました。上川新町政への政策提言や、まちづくりの取り組みへの議員としての関わりを、できるだけ詳しくお伝えできるようにしています。また、町民の皆様から寄せられた感想やご指摘も謙虚に受け止め、編集に活かしていきたいと考えていますので、ご協力の程よろしく願います。

（記 森田二郎）



議会だより調査特別委員会
委員長 森田 二郎
副委員長 谷口 貴
委員 川上 守
委員 梶原 明
議長 山根 政彦